

展示会で気になつた技術・システム

1億5千万画素の カメラ・6百万円

そのほか、気になつた技術・システムを紹介しよう。1億5千万画素のカメラ。本体とレンズで6百万円とか。ダムや橋梁、建築物の検査には必要で小さなひび割れが発見できる。



ソフトラーマーが 大々的に



オリンピックで有名になつた夜空に絵を描くドローンも出展。費用を聞いてみたら、1千万円からできるそうだ。



福島産のドローンには 補助金ができる！



福島県産のドローンの購入には補助金が適応されるそうだ。これは県外の法人・個人事業主が購入してもOK！「メードインふくしまロボット導入支援助成金」という名で福島県のホームページに詳しく載っている。是非活用してみて欲しい。



年は大きなスペースで出展。これもドローンの急速な発展をイメージする。

「国内における法整備とこれから」 のコンファレンスを聞いて

ドローンの市場は 10年で30倍に

ドローンの市場は2016年154億円・2022年1725億円・2027年5147億円と試算さ

る。東京から岩手のドローンを操作するなど。携帯電話の技術とのコラボレーションが様々な所で開発されている。水中・空・陸で見られる。

遠隔で操作するというキーワードも多く見られた。東京から岩手のドローンを操作するなど。携帯

デジタル田園都市
国家構想を知る

2016年から政府が発表しているドローンのロードマップは一度見て頂きたい。中々難しく書かれているが、デジタル

左記は、現在、官民上げて取り組んでいる事例が載っている。企業だけではなく、政府の本気も少し伝わってくる。ドローンはやはりこれからだ。

取り組んでいる 事例も見ておこう

空の産業革命に向けた
ロードマップ2021



ドローンの利活用の促進・社会実装への
取り組み



既に動き出したドローン機体の登録制度があり、来年の頭に免許制度ができる。これは1等資格・2等資格とできる予定で、3年間有効期限で更新が必要になる予定だ。詳しく述べる。7月に発表される。最後にUTMSというシステム。本気でドローンが活躍すると、道路の交通事故のようなことが空で起きる。それを解決する為のシステムだ。それだけ空の世界で、ドローンで混み合うことが想定されているということ。

機体の登録制度があり、来年の頭に免許制度ができる。これは1等資格・2等資格とできる予定で、3年間有効期限で更新が必要になる予定だ。詳しく述べる。7月に発表される。最後にUTMSというシ

テム。本気でドローンが活躍すると、道路の交通事故のようなことが空で起きる。それを解決する為のシステムだ。それだけ空の世界で、ドローンで混み合うことが想定されているということ。

機体の登録制度があり、来年の頭に免許制度ができる。これは1等資格・2等資格とできる予定で、3年間有効期限で更新が必要になる予定だ。詳しく述べる。7月に発表される。最後にUTMSというシ